

平成28年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔社会〕 種目〔公民的分野〕

平成28年度から使用する中学校用教科書の採択について

教科 [社会] 種目 [公民的分野]

1 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、国や地方自治体の政治機関や全国規模の企業の支社・支店が集中し、中国地方の中心都市として、政治、商工業の中心的機能を果たしている。第一次産業から第三次産業まで様々な産業が見られ、現代生活全般を概観できる地域である。
- ひろしま型カリキュラム「言語・数理運用科」の取組等から、資料を読み取り情報を取り出す力は定着してきている。しかし、それらに関連付けて多面的・多角的に考察し、自分の意見をまとめたり、説明したりする力に課題がある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 公民としての基礎的教養を培うための工夫 ② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 学習意欲を高めるための工夫 ④ 問題解決的な学習を実施するための工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
＜内容の表現・表記＞	⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑧ 文字の大きさや配色等の工夫
＜言語活動の充実＞	⑨ 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

3 各教科書の特徴及び意見

1 基礎・基本の定着

(1) 公民としての基礎的教養を培うための工夫

- 中項目「現代社会をとらえる見方や考え方」で、対立と合意、効率と公正について、本文8ページにわたり説明し、学校の部活動での活動場所をめぐるトラブル、マンションの自治会でのトラブルを具体例にあげて、解決策を考えるようにしている。
- 各大項目の最後の特設ページで、学んだことを対立と合意、効率と公正の視点からとらえ直し、課題の解決方法を考えるようにしている。

(2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 国旗・国歌について、本文5行で説明し、「オリンピック表彰式」の写真を掲載している。
- 領土をめぐる問題について、コラムで「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の問題を取り上げている。
- 特設ページ「公民にアクセス」で、領土をめぐる問題について、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の問題を取り上げている。
- 大項目「私たちと国際社会の諸課題」の最後で、基礎的な用語の確認や、書く活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各大項目の冒頭1ページに、学習内容に関連する絵や写真を掲載している。
- 「広島」に関する資料として、「平和記念式典」、「広島を訪れる外国人へのメッセージを書く広島市の中学生」、「北広島町の花田植」の写真等、(計16点)を掲載している。
- 特設ページ「公民にチャレンジ」で、2ページにわたり、「鞆町における中学生の政治参加」の事例を掲載している。
- 各大項目の冒頭で、小学校で学習した語句を10程度掲載し、小学校との関連を図っている。
- 分野関連マークで、地理的・歴史的分野との関連を示している。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 全ての小項目で、「どのように」「どのような」という発問がある。
- 特設ページ「公民にチャレンジ」で、刑事事件の模擬裁判や地域の問題を題材に意思決定を行う活動を設定している。
- 随所に「えんぴつ」のマークを付し、「投票率を上げるにはどうしたらよいか、資料を参考に考えましょう。」「イラストはどの省庁と関連するか、考えましょう」等の課題を提示している。
- 大項目の冒頭で、これから学習する内容に関連した事例について、自分の考えを持たせ、大項目の最後で、学習したことを基に、その事例について再度考え、表現する課題を提示している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 巻末資料では、「現代社会の歩み」「世界の現状」「参考法令集」「用語解説」「索引」を35ページにわたり掲載している。
- 表見返し4ページにわたり、「持続可能な社会を目指して」「公民学習の初めに」を掲載している。
- 裏見返し3ページにわたり、「私たちにできる社会参画」「日本の無形文化財」を掲載している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ「深めよう」で、「伝統文化の継承と私たち」、「貿易の自由化と日本」等8のテーマを掲載している。
- コラム「公民にチャレンジ」で、「バリアフリーについて考えよう」「多数決について考えよう」等、20のテーマを掲載している。
- コラム「公民にアクセス」で、本文で学習した内容について、「選挙シミュレーション」、「需用量・供給量・価格の関係について考えよう」等、関連する内容や事例を取り上げ、さらに深く考える課題を設定している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 大項目「私たちの暮らしと経済」では、130の資料を掲載している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 中項目「よりよい社会を目指して」で、「持続可能な社会を実現するための探求の方法」というテーマについて、課題を見つけ、社会参画の方法を考え、レポートを作成する学習を設定している。
- 見開きごとに「確認」で、学習内容をまとめ、「次の語句を使って説明しましょう。」「～という観点から説明しましょう。」「次の事柄から一つ選び、説明しましょう。」「～について、自分の考えを説明しましょう。」「に文字を入れましょう」等の指示により、説明する課題を設定している。
- 各大項目の最後の特設ページで、学習したことを基に、プレゼンテーションやパネルディスカッション、ディベート等を通して、自分の意見を発表する活動が設定されている。
- コラム「公民にチャレンジ」で、ウェビングマップを作成しながら、学習を進める技法を示している。

意見

東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

東京書籍の教科書の特徴である、各大項目の冒頭で、小学校で学習した語句を10程度掲載し、小学校との関連を図っていること、大項目の冒頭で、これから学習する内容に関連した事例について、自分の考えを持たせ、大項目の最後で、学習したことを基に、その事例について再度考え、表現する課題を提示していること、見開きごとに、学習内容をまとめ、「～という観点から説明しましょう。」「次の事柄から一つ選び、説明しましょう。」「～について、自分の考えを説明しましょう。」等の指示により、説明する課題を設定していること、各大項目の最後に、プレゼンテーションやパネルディスカッション、ディベート等の多様な活動を通して、自分の意見を発表する学習が設定されていることは、思考力、判断力、表現力の育成をめざすひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や情報を関連付けて多面的・多角的に考察し、自分の意見をまとめたり、説明したりする力に課題がある本市生徒の状況により対応することができるものである。

1 基礎・基本の定着

(1) 公民としての基礎的教養を培うための工夫

○ 中項目「現代社会をとらえる見方や考え方」で、対立と合意、効率と公正について、本文4ページにわたり説明し、マンションの駐車場問題を具体例にあげて解決策を考えるようにしている。

(2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

○ 国旗・国歌について、本文11行で説明し、「オリンピックの表彰式」、「震災の復興支援のためのサッカーの試合で国歌を斉唱する仙台市の子どもたち」の写真を掲載している。

○ 領土をめぐる問題について、本文1ページにわたり「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の問題を取り上げている。

○ 特設ページ「読んで深く考えよう」で、領土をめぐる問題について、「北方領土」の問題を取り上げている。

○ 大項目「私たちと国際社会の諸課題」の最後で、基礎的な用語を用いた説明や意見交換する活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

○ 各大項目の冒頭1ページに、学習内容に関連する絵や写真を掲載している。

○ 「広島」に関する資料として、「広島を訪れる外国人へのメッセージを書く広島市の中学生」の写真を掲載している。

○ 各大項目の冒頭で、「はじめに」を設定し、これからの学習に見通しを持たせている。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

○ 全ての小項目で、「どのように」「どのような」という発問がある。

○ 特設ページ「言葉で伝え合おう」で、刑事事件の模擬裁判や地域の問題を題材に意思決定を行う活動を設定している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

○ 巻末資料では、「参考法令集」「用語解説」「索引」を34ページにわたり掲載している。

○ 表見返し5ページにわたり、「動き続ける世界」「公民学習を始めるにあたって」「ともに生きる社会をみざして」を掲載している。

○ 裏見返し2ページにわたり、「未来へ歩み続ける人々」を掲載している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

○ 特設ページ「読んで深く考えよう」で、「つなげたい、日本の伝統や文化」「貿易とはなんだろう」等6テーマを掲載している。

○ 特設ページ「言葉で伝え合おう」で、『「情報リテラシー」ってなんだろう』、「福祉の課題を追求しよう」等、6のテーマを掲載している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

○ 大項目「私たちの暮らしと経済」では、148の資料を掲載している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

○ ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

○ 中項目「よりよい社会を目指して」で、「未来への私の約束を作る」というテーマでレポートを作成する学習を設定している。

○ 見開きごとに「ふりかえる」で、学習内容をまとめ、「～の用語を使って説明しよう。」「～を説明しよう」等の指示により、説明する課題を設定している。

○ 特設ページ「言葉で伝え合おう」で、プレゼンテーションやポスターセッション、ディベート等を通して、自分の意見を発表する活動が設定されている。

1 基礎・基本の定着

(1) 公民としての基礎的教養を培うための工夫

- 中項目「現代社会をとらえる見方や考え方」で、対立と合意、効率と公正について、本文2ページにわたり説明し、学校の部活動での活動場所をめぐるトラブルを具体例にあげて解決策を考えるようにしている。

(2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 国旗・国歌について、本文6行で説明している。
- 領土をめぐる問題について、コラムで「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の問題を取り上げている。
- 大項目「私たちと国際社会の諸課題」の最後で、基礎的な用語を確認する活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各大項目の冒頭1ページに、学習内容に関連する絵や写真を掲載している。
- 「広島」に関する資料として、「超低床の路面電車」、「原爆ドームと戦争当時の爆心地」、「北広島町の花田植」の写真等、(計6点)を掲載している。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 小項目で、「どのように」「どのような」という発問がある。
- 随所に「風船」のマーク付し、「自由とわがままはどうちがうのだろうか。考えてみよう。」「国民に公開されなければならないのは、どのような情報だろうか」等の課題を提示している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 巻末資料では、「参考法令集」「索引」を25ページにわたり掲載している。
- 表見返し3ページにわたり、「現代の世界」「世界の中学生」を掲載している。
- 裏見返し3ページにわたり、「現代社会のうごき」「日本の無形文化遺産」を掲載している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ「もっと知りたい公民」で、「日本の文化を考えよう」「TPPと日本」等12のテーマを掲載している。
- 特設ページ「深める公民」で、「憲法改正について考える」、「中小企業の強み」等、11のテーマを掲載している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 大項目「私たちの生活と経済」では、87の資料を掲載している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 中項目「よりよい社会を目指して」で、卒業論文を作成する学習を設定している。

1 基礎・基本の定着

(1) 公民としての基礎的教養を培うための工夫

- 中項目「現代社会をとらえる見方や考え方」で、対立と合意、効率と公正について、本文4ページにわたり、マンションの騒音問題を具体例にあげて説明している。
- 特設ページで2ページにわたり、ロールプレイをとおして、マンションの騒音問題を具体例にあげて、対立と合意、効率と公正の視点から解決策を考えるようにしている。

(2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 国旗・国歌について、本文9行で説明するとともに、「ロンドンオリンピックで優勝し、『日の丸』をかかげて喜ぶ吉田沙保里選手」、「『日の丸』をふって応援する人たち」の写真を掲載している。
- 領土をめぐる問題について、本文2ページにわたり「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の問題を取り上げている。
- 大項目「私たちと国際社会の諸課題」の最後で、基礎的な用語の確認や、書く活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各大項目の冒頭1ページに、学習内容に関連する絵や写真を掲載している。
- 「広島」に関する資料として、「原爆投下直後の原爆ドームの写真」、「広島平和記念式典の写真」（計2点）が掲載されている。
- 各大項目の冒頭で、「学ぶこと」を設定し、これからの学習に見通しを持たせている。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 全ての小項目で、「どのように」「どのような」という発問がある。
- 特設ページ「トライアル公民」で、刑事事件の模擬裁判や地域の問題を題材に意思決定を行う活動を設定している。
- 大項目の冒頭の「学習の前に」で、これから学習する内容に関連した事例について、自分の考えを持たせ、大項目の最後で、学習したことを基に、その事例について再度考え、表現する課題を提示している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 巻末資料では、「参考法令集」「索引」を27ページにわたり掲載している。
- 表見返し3ページにわたり、「世界で活躍する日本人」「私たちと公民的分野の学習」「学習の始めに」を掲載している。
- 裏見返し3ページにわたり、「より良い未来をめざして」「第二次世界大戦後の歩み」を掲載している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ「トライアル」で、「マンションの騒音問題を解決しよう」、「赤字バス路線に税金使うか」等7のテーマを掲載している。
- 特設ページ「未来に向けて」で、「防災とまちづくり」、「日本経済の発展に必要なこと」等、5テーマを掲載している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 大項目「私たちと経済活動」では、109の資料を掲載している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 中項目「よりよい社会を目指して」で、「持続可能な社会をめざして」というテーマでレポートを作成する学習を設定している。
- 見開きごとに「確認しよう」「説明しよう」で、学習内容をまとめ、「～を本文から書き出してみよう」「なぜ～なのか説明しよう」等の指示により、説明する課題を設定している。
- 特設ページ「トライアル公民」で、ディベートやディスカッション等を通して、自分の意見を発表する活動が設定されている。
- コラム「技能をみがく」で、ディベートや、意見を整理する方法としてKJ法やツリースタイル、フィッシュボーンスタイル等の技法を示している。

意見

帝国書院の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

帝国書院の教科書の特徴である、大項目の冒頭で、これから学習する内容に関連した事例について、自分の考えを持たせ、大項目の最後で、学習したことを基に、その事例について再度考え、表現する課題を提示していること、見開きごとに、学習内容をまとめ、「～を本文から書き出してみよう」「なぜ～なのか説明しよう」等の指示により、説明する課題を設定していること、特設ページで、ディベートやディスカッション等を通して、自分の意見を発表する活動が設定されていることは、思考力、判断力、表現力の育成をめざすひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や情報を関連付けて多面的・多角的に考察し、自分の意見をまとめたり、説明したりする力に課題がある本市生徒の状況に対応することができるものである。

1 基礎・基本の定着

(1) 公民としての基礎的教養を培うための工夫

- 中項目「現代社会をとらえる見方や考え方」で、対立と合意、効率と公正について、6ページにわたり説明し、学校の合唱練習での時間と場所の割り振りをめぐるトラブルを具体例にあげて、解決策を考えるようにしている。
- 各大項目の最後の特設ページで、学んだことを生かして、「合意を考えるための問題」を設け、解決策を考えようとしている。

(2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 国旗・国歌について、本文3行で説明するとともに、「観客席に掲げられた日章旗」の写真に掲載している。
- 領土をめぐる問題について、本文1ページにわたり「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の問題を取り上げている。
- 大項目「私たちと国際社会の諸課題」の最後で、基礎的な用語の確認や、自分の考えを説明する活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各大項目の冒頭1ページに、学習内容に関連する絵や写真を掲載している。
- 「広島」に関する資料として、「熊野町の筆づくり」、「被爆直後の広島市内のようすと原子爆弾のきのこ雲」、「平和首長会議」の写真等、(計10点)を掲載している。
- 各大項目の冒頭で、「ナビ」を設定し、学習する内容の基本を示している。
- 「矢印」のマークで、小学校で学習した内容との関連、地理的・歴史的分野との関連を示している。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 小項目で、「どのように」「どのような」という発問がある。
- 特設ページ「明日に向かって」で、刑事事件の模擬裁判や地域の問題を題材に意思決定を行う活動を設定している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 巻末資料では、「参考法令集」「用語解説」「索引」を40ページにわたり掲載している。
- 表見返し4ページにわたり、「公民との出会い」「日本の現代史年表」を掲載している。
- 裏見返し3ページにわたり、「残していきたい日本の風景」「さまざまなかたちがある私たちと社会のつながり」を掲載している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ「明日に向かって」で、「バリアフリーの社会」、「環境保全の取組」等8のテーマを掲載している。
- 特設ページ「チャレンジ公民」で、「表現の自由について考えよう」、「これからの消費税を考えよう」等、4のテーマを掲載している。
- コラム「アクティビティ」を設け、「人口ピラミッドの変化」、「選挙制度」等、関連する内容や事例を取り上げ、さらに深く考える課題を設定している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 大項目「私たちと経済」では、128の資料を掲載している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 中項目「よりよい社会を目指して」で、「平和」「環境」「人権」「世代間の公正」「防災・減災」をテーマに、レポートの作成や、プレゼンテーションする学習を設定している。
- 見開きごとに「学習の確認と活用」で、学習内容をまとめ、「資料を使って説明しよう」や「グループで話し合おう」等の指示により、説明する課題を設定している。
- 特設ページ「チャレンジ公民」で、ブレインストーミングやディベート等を通して、自分の意見を発表する活動が設定されている。

1 基礎・基本の定着

(1) 公民としての基礎的教養を培うための工夫

○ 中項目「現代社会をとらえる見方や考え方」で、対立と合意、効率と公正について、コラムで部活動の練習場所を具体例にあげて説明している。

(2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

○ 国旗・国歌について、本文6行で説明し、特設ページ「もっと知りたい」で2ページにわたり、『日章旗』の意味、『君が代』の意味、「国旗掲揚の国際儀礼」を掲載している。

○ 領土をめぐる問題について、本文14行で「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の問題を取り上げている。

○ 特設ページ「もっと知りたい」で、領土をめぐる問題について、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の問題を取り上げている。

○ 裏見返し2ページにわたり、「わが国の領域」で、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」等の写真を掲載している。

○ 大項目「私たちと国際社会の諸課題」の最後で、基礎的な用語の確認や、約400字で書く活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

○ 「広島」に関する資料として、「広島市の原爆被害」の写真を掲載している。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

○ 小項目で、「どのように」「どのような」という発問がある。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

○ 巻末資料では、「参考法令集」「索引」を35ページにわたり掲載している。

○ 表見返し3ページにわたり、「すごいぞ日本の技術は」を掲載している。

○ 裏見返し2ページにわたり、「わが国の領域」を掲載し、竹島・尖閣諸島等を例にあげてわが国の領土を示している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

○ 特設ページ「もっと知りたい」で、「科学とはなんだろう」、「企業はだれのものか」等、21のテーマを掲載している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

○ 大項目「私たちと経済」では、54の資料を掲載している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

○ ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

○ 中項目「よりよい社会を目指そう」で、『持続可能な日本社会をつくるために私たちは何ができるか』を考え、『卒業論文』を作成しよう」というテーマ卒業論文を作成する学習を設定している。

○ 各章の「学習のまとめと発展」で、約400字でまとめてみよう等の課題を設定している。

1 基礎・基本の定着

(1) 公民としての基礎的教養を培うための工夫

- 中項目「現代社会をとらえる見方や考え方」で、対立と合意、効率と公正について、本文2ページにわたり説明し、学校の文化祭での劇の配役をめぐるトラブルを具体例にあげて、解決策を考えるようにしている。

(2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 国旗・国歌について、本文12行で説明し、コラムで「国歌『君が代の意味』」を掲載している。また、測注で国際社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方を説明し、「オリンピック表彰式での国旗掲揚の様子」の写真を掲載している。
- 領土をめぐる問題について、本文12行で「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の問題を取り上げている。
- 特設ページ「理解を深めよう」で、領土をめぐる問題について、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の問題を取り上げている。
- 大項目「私たちと国際社会の諸課題」の最後で、基礎的な用語の確認や、問題演習を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各大項目の冒頭1ページに、学習内容に関連する絵や写真を掲載している。
- 「広島」に関する資料として、「安芸高田市の神楽甲子園」、「育児休暇をとる湯崎英彦知事」、「尾道市の棕浦の法楽おどり」、「呉市のカキいかだ」の写真(計4点)を掲載している。
- 各大項目の冒頭で、「入り口」を設定し、学習する意義を示している。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 小項目で、「どのように」「どのような」という発問がある。
- 特設ページ「やってみよう」で、刑事事件の模擬裁判や地域の問題を題材に意思決定を行う活動を設定している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 巻末資料では、「学習に役立つウェブサイト」「参考法令集」「索引」を33ページにわたり掲載している。
- 表見返し7ページにわたり、「私たちを取り巻く課題」「世界で活躍する日本人」「人生ものさし」を掲載している。
- 裏見返し2ページにわたり、「持続可能な社会をめざして」を掲載している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ「理解を深めよう」を設け、「日本の伝統文化」、「企業の社会貢献」等8のテーマを掲載している。
- 特設ページ「やってみよう」で、「家族が生きてきた時代を調べよう」、「企業を訪問してみよう」等、6テーマを掲載している。
- 特設ページ「考えよう」で「男女の平等と家族の価値」、「地球環境問題と日本」等、関連する内容や事例を取り上げ、さらに深く考える課題を設定している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 大項目「私たちと経済」では、135の資料を掲載している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 中項目「よりよい社会を目指して」で「国づくり構想を立てよう」というテーマのレポートを作成する学習を設定している。
- 見開きごとに「学習のまとめ」で、「話し合ってみよう」や「気づいたことを説明しよう」等の指示により、説明する課題を設定している。
- 特設ページ「やってみよう」で「ディベートをやってみよう」を設けている。

平成28年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔社会〕種目〔地図〕

平成28年度から使用する中学校用教科書の採択について

教科〔社会〕種目〔地図〕

1 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、太田川のデルタ地形に位置し、自然環境にも恵まれるとともに、古代遺跡等の歴史的資源も豊富であり、地理的・歴史的分野におけるフィールドワークに適している。また、第一次産業から第三次産業まで様々な産業が見られ、地域調査や体験活動を行うのに適している。
- 生徒は、地図に対する興味・関心が高く、読図や作図などの学習に積極的に取り組むことができる生徒が多いが、社会的事象を形成している背景や理由について、地図を有効に活用して説明したり、自分の解釈を加えて論述したりする力に課題がある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 学習意欲を高めるための工夫 ④ 学び方・調べ方の題材やその手順の示し方
＜内容の構成・配列・分量＞	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量
＜内容の表現・表記＞	⑥ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑦ 文字の大きさや配色等の工夫
＜言語活動の充実＞	⑧ 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

3 各教科書の特徴及び意見

東京書籍

1 基礎・基本の定着

(1) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 「日本の周辺」の地図で、日本の東端、西端、南端、北端を全て示すとともに、各島の写真を掲載している。
- 「日本の周辺」の地図で、択捉島、竹島、尖閣諸島を示すとともに、各島の写真と説明文を掲載している。
- 「古代・中世の陸上・海上交通」「江戸時代の大阪」「奈良市の主な文化財と観光地」等、歴史的な視点からまとめた地図を掲載している。

(2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 環境問題について、4ページにわたり地図、写真、グラフを掲載している。
- 世界の生活・文化について、4ページにわたり、「世界の住居の材料」「世界の食文化」「世界と日本のカロリー摂取」「世界の宗教」「世界の言語」「世界の祭り」の分布図や写真等を掲載している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 日本の地図に、農産物、畜産物・水産物、工業製品・工芸品のイラストを付している。
- アジア州、ヨーロッパ州、北アメリカ州の資料を扱うページで、鳥瞰図を掲載している。

(2) 学び方・調べ方の題材やその手順の示し方

- 「この地図帳の地図記号」「この地図帳の活用方法」で、3ページにわたり、地図記号を確認するとともに、地図や資料の見方を説明している。
- キャラクターの吹き出しで、「さまざまな地図と見比べて考えてみましょう。」「土地利用と地形にはどんな関係があるかな。」等、地図を活用した学習課題を示している。
- 資料に「ジャンプ」のマークを付し、その資料と関連のある資料が掲載されたページを示している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 世界の様々な地域に関連する地図や資料を66ページにわたり掲載している。
- 日本の様々な地域に関連する地図や資料を94ページにわたり掲載している。
- 巻末で、10ページにわたり、「世界と日本の統計資料」「世界各地の平均気温・平均降水量」「植物の景観模式」「日本各地の平均気温・平均降水量」等を掲載している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 中国・四国地方については、「中国・四国地方の自然環境」「中国・四国地方の降水量」「中国・四国地方の人口密度」「中国・四国地方の工業」「中国・四国地方の農業」「中国・四国地方の老年人口の割合」「原子爆弾投下時の広島市」「高速道路や橋の変化」の8つの資料を掲載している。
- 日本列島の全体図を、550万分の1の縮尺で、見開き2ページにわたり掲載している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- 一部の国名や都道府県名の赤文字を白く縁取りしている。
- カラーユニバーサルデザインに配慮した配色にしている。

5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- キャラクターの吹き出しで、「1980年と2010年とでは、自動車工場の分布にどんなちがいがあのか。それはなぜだろう。」「場所によって見られる植物がちがうのはどうしてかな。」等の発問により、学習課題を示している。

意見

東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

東京書籍の教科書の特徴である、キャラクターの吹き出しで、「さまざまな地図と見比べて考えてみましょう。」「土地利用と地形にはどんな関係があるかな。」等、地図を活用した学習課題を示していること、資料に「ジャンプ」のマークを付し、その資料と関連のある資料が掲載されたページを示していること、キャラクターの吹き出しで、「場所によって見られる植物がちがうのはどうしてかな。」等の発問により、学習課題を示していることは、思考力、判断力、表現力の育成をめざすひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や社会的事象を形成している背景や理由について、地図を有効に活用して説明したり、自分の解釈を加えて論述したりする力に課題がある本市生徒の状況に対応することができるものである。

1 基礎・基本の定着

(1) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 「日本の位置とまわりの国々」の地図で、日本の東端、西端、南端、北端を全て示すとともに、各島の写真を掲載している。
- 「日本列島」の地図で、国後島、竹島、尖閣諸島を示すとともに、各島の写真と説明文を掲載している。
- 「第二次世界大戦中（1941年）のアジア」「元禄年間の大阪」「江戸（江戸時代末ごろの東京）」等、歴史的な視点からまとめた地図を掲載している。
- 「東アジアと日本」の地図で、日本と東アジアとの主な交流ルートを示すとともに、共通して見られる生活・文化を掲載している。

(2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 環境問題について、2ページにわたり地図、写真を掲載している。
- 世界の生活・文化について、4ページにわたり、「特色ある住居と衣装」「特色ある料理と食事」「さまざまな言語（公用語）」「さまざまな宗教」の分布図や写真等を掲載している。
- 「日本との結びつき」や「環境」をテーマとしたコーナーを設けている。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 日本の地図に、農産物、畜産物・水産物、工業製品・工芸品のイラストを付している。
- アジア州、ヨーロッパ州、北アメリカ州の資料を扱うページで、鳥瞰図を掲載し、自然・生活・産業に関連したイラストを付している。

(2) 学び方・調べ方の題材やその手順の示し方

- 「この地図帳の記号凡例」「この地図帳の使い方 地図帳の構成」で、3ページにわたり、地図記号を確認するとともに、地図や資料の見方、地図の要素を説明している。
- 「やってみよう」のコーナーで、「1500m以上の山をさがし、朝鮮半島の地形の特色を確認してみよう。」「那覇～福岡と、那覇～タイペイの長さをはかり、実際の距離を計算して比べてみよう。」等、地図を活用した学習課題を示している。
- 「地図を見る目」のコーナーで、「黄河や長江を上流に向かってたどり、景観や土地利用の変化に着目しよう。」等、読図の視点を示している。
- 世界各州の地図に、同緯度・同経度・同縮尺の日本を示している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 世界の様々な地域に関連する地図や資料を71ページにわたり掲載している。
- 日本の様々な地域に関連する地図や資料を87ページにわたり掲載している。
- 巻末で、9ページにわたり、「自然の統計」「気候の統計」「世界の統計」等を掲載している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 中国・四国地方については、「中国・四国地方の自然・産業・暮らし」「広島市付近」「地域によって異なる中国・四国地方の農業」「中国・四国地方の工業」「中国・四国地方の交通の変化」「鳥取砂丘」「八幡浜市のみかん栽培」「高知平野の野菜栽培」の8つの資料を掲載している。
- 日本列島の全体図を、400万分の1の縮尺で、折り込み3ページにわたり掲載している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- 国名や都道府県名の赤文字を黒色で縁取りするとともに、一部の国名は、さらに白く縁取りをしている。
- カラーユニバーサルデザインに配慮した配色にしている。

5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 「やってみよう」のコーナーで、「甲府盆地の地形の特色を確認し、そこでの土地利用の変化や産業のようすで気づいたことを話し合ってみよう。」「1月の降水量が日本海側で多い理由を、⑥図と⑧図から説明してみよう。」等の発問により、考えたことを表現する学習課題を示している。

意見

帝国書院の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

帝国書院の教科書の特徴である、「やってみよう」のコーナーで、「1500m以上の山をさがし、朝鮮半島の地形の特色を確認してみよう。」「那覇～福岡と、那覇～タイペイの長さをはかり、実際の距離を計算して比べてみよう。」等、地図を活用した学習課題を示していること、「地図を見る目」のコーナーで、「黄河や長江を上流に向かってたどり、景観や土地利用の変化に着目しよう。」等、読図の視点を示していること、世界各州の地図に、同緯度・同経度・同縮尺の日本を示していること、「やってみよう」のコーナーで、「甲府盆地の地形の特色を確認し、そこでの土地利用の変化や産業のようすで気づいたことを話し合ってみよう。」等の発問により、考えたことを表現する学習課題を示していることは、思考力、判断力、表現力の育成をめざすひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や社会的事象を形成している背景や理由について、地図を有効に活用して説明したり、自分の解釈を加えて論述したりする力に課題がある本市生徒の状況により対応することができるものである。